俺はお前に恋をした。

亜夏琶牒

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺はお前に恋をした。

【Nコード】

N1768BA

【作者名】

亜夏琵琶牒

【あらすじ】

あの夏。俺と、先輩は彼女の争奪戦をした。惜しくも、俺は彼女を奪えなかった。あの女が邪魔をしなければ、こんなことにはならなかったのかもしれない。でもそれは、もう・・・過去の話。

プロローグ

なア・・・利奈？あの時・・・嘘、ついちゃったんだ。

俺さ・・・本当はお前のこと・・・好きだったんだぜ？

ごめんな・・・いえなかつたんだ。ごめんな・・・。

誤ってもしょうがないよな・・・もう戻る事はないんだから・・・。
なア・・・利奈？お前は今、幸せか？あいつの胸の中で、幸せにな
れるか？

どうか・・・、幸せになってくれよ。どうか・・・俺のことを忘れ
てくれよ？

そうしなきゃ、俺は、お前を奪ってしまう。お前の幸せを奪ってし
まうんだよ。

だから、俺をどうか、忘れてください。

その手紙を利奈の下駄箱に入れた後。俺は静かに。家路に着いた。

暑い、暑い、暑い

芦田学園の一年生野球部に所属する俺は、村上 昴。ま・・・頭は悪いし、顔もそこまでよくない・・・、ま・・・昔は彼女はいたから、中の中のルックスだろう。

さて、季節は夏！野球の季節だ。夏休みに入ってから、野球の練習が過酷になってきた。一周400Mはあるであろうグラウンドを30周毎日だ。そんなことが精神的にむりだと思っ、おれは少し練習をさぼった。行き先は、体育館、バスケット部の友達がいるからだ。少し覗きにいくと、バスケット部は試合をしていた。その試合は男女混合制で女子は結構きつそうだな〜と思っっていたら、1人、普通に男子とやっているやつがいた。そいつを見て、俺は固まった。そいつは、同じクラスの奴で・・・確か・・・安藤 利奈・・・っ言っただかな？まア、クラスでは普通の女子で可愛い、可愛くないか・・・といわれれば・・・まア、かわいいほうだろう。でも、俺はそんなことどうでもよかった。バスケット部してる彼女があまりにも、「綺麗」だったのだ。そう、例えるならば蝶のように優雅な動き。一年生とは思えないうまさ。すごい・・・。

「あら。昴じゃん。サボリ？」

試合を終えた彼女が近づいてきていう。

「別にさぼってねえよ！ただ、直哉がいたから・・・」

「呼ぼうか？」

「いや、いい。疲れてるだろ？あいつ。」

「まア・・・体力ないからね、直哉。」

直哉とはおれが仲のいいバスケット部の友達である。中学校からバスケットをはじめた素人・・・

「でも、直哉は素質あるとおもうな〜。うまいもん。」

「自分だっとうまいだろ。何言っただか？」

「えへへ〜。うちなんか全然だよ〜だっ「おおおおい！！！！！！」

！昂~~~~~！そこで何やってんだア！？」

「げ・・・見つかった・・・」

「やっぱサボりじゃん！さっさといつてきな〜！」

「わかってるよ・・・！じゃアな！」

振り向きざま見た、彼女はすごく優しい笑顔でこっちを見ていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1768ba/>

俺はお前に恋をした。

2012年1月4日14時48分発行